

『時は命なり』

時間の有効的活用について



高井法博会計事務所 所長

税理士 高井 法博

明けましておめでとございませう。あつという間に、45才になってしまった。月日がたつのが、日増しに早く感じる今日この頃である。

私もよく講演を頼まれることがあるが、初めて聞いていただく方にお見せするカレンダーがある。このカレンダーは、私が最初にアメリカに行った時見たもので、非常に感銘を受け、帰国後印刷したものである。(後日、日本でもS.M.Iから配られていることがわかった。)

実は、このカレンダーは25年分載っている。25年とはとても長いようだが、月数に直すと25年×12ヶ月＝300ヶ月。日数に直すと300ヶ月×30日＝約9000日しかない。25年と言うと、ただ漠然と何千ヶ月も、何万日もあるように思うが、改めて300ヶ月、約9000日を確認し啞然とする。一日や一ヶ月はあつという間に過ぎて行くが、この数字を再確認すると、本日に一日一日が大切だと思えてくる。このカレンダーは、今から9年前

に作ったものだが、もう25分の9が終わったことになる。うかうかしていると、何もなしにいまま人生を終わってしまいそうな気がする。人間は皆平等であると言われるが、裕福な

家庭に生まれる者、貧乏な家に生まれる者、各々生まれながらに与えられた環境は、必ずしも平等ではない。しかし、誰もが平等に与えられているものがある。それは、『時間』である。

世の中のスバライイ人々を見ると、この時間の使い方がとてもうまい。我々のような凡人に与えられている時間も、各界で大活躍をしておられる方々も、一日24時間は変わらない。結局、成功できるかどうかの一つの大きなファクターは、この時間管理ができるかどうかだと思ふ。この時間の使い方が人生の成功、不成功につながる。であれば、まず何よりも、時間という資源を大切にしなければならぬ。スバライイ方々にお逢いし注意深く見ていると、この時間という資源を有効

に使うノウハウを発見することができる。そのいくつかを紹介すると、

一、『今日やるべきことを書き出し、優先順位をつける。』：人間やりたくないこと、好きなこと、後でも良いこと、色々なことがある。自分が本当にやらねばならないことを後回しにして、たいして意味のないどうでも良いこと行っており、大変なチャンス逃がしている人がいる。これは、大変な浪費である。

当事務所の商品に『行動手帳』というのがある。様々なノウハウが入っているが、一つには『今日なすべき重要事項を書き出す欄』そして『優先順位をふる欄』その『元了チェック欄』がある。これの活用が人生成功の鍵の一つになると思う。是非、行動手帳の活用をおすすめしたい。

二、終了時間をあらかじめ決めると同時に、常に詰を意識する。：人と逢う、会議をする、仕事にとりかかる、ほとんど開始時間は決まっている。しかし、終了時間を決めておくことは少ない。だから、いつまでもダラダラと果てしなく続く。長ければ、密度が薄くなるだけである。人間は期限を決められると、意外な力を発揮する。「仕事を頼むなら忙しい人に頼め。」というように、多忙な人はいつも緊迫感があり仕事を次々とこなす何倍もの成果、量を上げる。また、「詰を意識する。」ことは、とても重要である。この仕事では何をやらねばならないかを明確にし、それをやり

上げる。これもいたずらに時間を費やしてはいけない。用件は一度で済ませ、判断はその場で、一刻を大切に!! 時間の節約と詰をしなれば、結論は後へ後へと流れダラダラになつてしまふ。

三、こま切れの時間の有効活用：出張時の乗車中、食事の時間、車に乗っている時間、待ち時間の5分、この時間を如何に有効に使うかである。私は、出勤途中の車中での時間でほとんどの打ち合わせを自動車電話で済ませてしまふ。急な面会希望は、一緒に食事をしながら等、結構有効に使っている。

四、集中すること：自分の子供3人を見ていて感じるのだが、わき目もふらず一心不乱に勉強にとりかかる者、テレビを見たり来客の話しにのりながら新聞にもつい手を出し勉強をやっている者、色々だが、やはり成果は明確である。勉強する時は勉強に集中し、仕事をやる時は仕事のことだけを考え、遊ぶ時は徹底してその時間を楽しむ。これもしたい、あれもしなければと思いつながら時間を過ごす

と結局何もできないこととなる。ここらに『氣付いて』いただき、スバライイ人生を送っていただけたらと願っている。残りの人生の中で、『氣付いた』今日が一番若い日だから。：。

お客様の事業の益々の御発展と御健康を心よりお祈りし、新年の御挨拶とさせていただきます。